

平成22年度第2回緑区地域福祉計画推進協議会議事要旨

[開催]

開催日時 平成22年8月28日(土) 14:00～15:57

開催場所 緑保健福祉センター2階 大会議室

出席者 委員19名中14名出席
事務局8名

[次第]

- 1 開会
- 2 委員長挨拶
- 3 議題
 - (1) 市民説明会の日程及び推進協議会の日程変更について
 - (2) 計画に対する意見聴取(障害者対象)
 - (3) 第2期緑区地域福祉計画(案)の検討
 - ①全体の基本的な方針
 - ②「基本方針」について
 - ③資料編について
 - (4) 平成22年度緑区地域福祉計画等の推進について
 - (5) その他
- 4 閉会

[議事及び質疑要旨]

議題(1) 市民説明会の日程及び推進協議会の日程変更について

市民説明会

11月13日(土)

推進協議会

第3回 10月23日(土)

第4回 12月4日(土) → 12月11日(土)

第5回 2月19日(土)

見直し委員会

第2回 10月9日(土)

第3回 11月20日(土)

第4回 2月5日(土)

時間：午後2時

場所：緑保健福祉センター2階会議室

議題（２）計画に対する意見聴取（障害者対象）

平山ひろ子（千葉市身体障害者福祉団体連合会）

高山 功一（千葉市障害者福祉団体連絡会）

堀 隆雄（千葉市知的障害者相談員）

の３名より意見を聴いた。

委員Ａ：非常に難しい事とは思いますが、簡単に障害者を理解するにはどうしたら良いですか。

堀：障害者を理解する教育を充実させることや実際に接してみることだと思います。接し方の違いによって、理解できることもあります。

委員Ａ：何らかの方法で、コミュニケーションをとることが可能と考えて良いですか。

堀：その通りです。

委員Ｂ：地域との交流などはありますか。

堀：ほとんどありません。また、子どもが施設に入所しているのですが、施設そのものも街の中心にはありません。しかし、夏祭りやバザーなどはやっていますので、近所の小学校にボランティアをお願いしたり、企業の方々や音楽団体からの協力などもあります。

委員Ｂ：地域のイベントなどには参加されていますか。

平山：私達は、参加していません。耳が不自由なため、なかなかコミュニケーションが取れないことから難しいと感じています。

高山：障害があると、イベント開催時には、ハンディキャップトイレがないため、トイレの使用が難しい時があります。また、緑区には、千葉県こども病院や千葉県千葉リハビリテーションセンターがあるため、緑区へ転居してくる方もいます。

委員Ｂ：障害者同士の集まりなどは活発ですか。

高山：福祉大会や各種イベントなど、他の団体とも一緒になってやっています。ただ、バリアフリーが充分でない上に、歩道の点字ブロック上に自転車を置くなど、一般の人たちのマナーの悪さには困惑しています。

委員Ｃ：障害者はなかなか外へ出て行かないので、健常者が主催するイベントなどにも積極的に出るようには言っています。待つのではなく、出て行くことが大切だと思います。また、健常者と障害者のお互いの心を開くことが必要だと思います。

高山：今年は千葉国体なので、健常者と障害者が触れあう絶好の場（機会）であり、全国、ボランティア、地域との交流などもあります。

委員Ｃ：障害者が社会へ出た時、落ちこぼれてしまわないように、健常者との交流を持つことが大切だと思います。また、障害者を排除し、健常者を表に出そうという風潮があります。

堀：障害者のいる家庭でも閉鎖的なところがあります。

高山：障害者も共生できます。また、障害者について、行政はもっとPRすべきだし、理解や教育もされていないのが現状です。

事務局：本庁の地域福祉課では、他の部署との連携もありますので、今の話しを伝えていきたいと思っています。

高山：障害者と言っても、障害の違いによっては理解できないこともあります。少しずつですが、時間をかけて理解していただければ良いと思います。

委員Ｂ：地域福祉計画も障害者の目線に立って作っていききたいと思っています。

議題（３）第２期緑区地域福祉計画（案）の検討

①全体の基本的な方針

②「基本方針」について

③資料編について

堀：地域福祉計画はこれで終わるわけではないと思いますが、取り組みの中には、永年的なものや期間的なものがあると思いますが、それらの違いが明確になっていないように感じます。また、5W1Hの詳しい内容もなく、「人」、「物」、「金」＋管理の記述も見あたりません。

委員長：「緑区第２期地域福祉計画（素案）」の２２項にある、「（１）第２期地域地域福祉計画の基本的な考え方③区計画のメリハリ」の記載が充分でなかったと思われます。どれくらいの期間で行うのか、また、優先順位をどうするのかを考えていきたいと思えます。

委員E：見直しの素案について、第５章以下が一番大事だと思います。第１～４章まで、ここまで細かく記載する必要はないのではないかと思います。もう少し簡潔に書いても良いのではないのでしょうか。むしろ、第５章についてもっと書くべきだと思います。

委員F：キーワードの１つである、コミュニケーションに健全者が障害者を理解する項目を入れてみてはどうでしょうか。

委員G：委員の任期は１年ごとに変わるが、計画そのものは継続して繋がっているものだと思います。

委員長：地域福祉計画のPR版には、もう少し簡潔にまとめてみようと思います。

委員H：文言が多いので、簡素化し、図式的なども考えて欲しい。

委員I：資料編の中に、障害者の窓口も入れてみてはどうでしょうか。

議題（４）平成２２年度緑区地域福祉計画等の推進について

特に意見等なし。

議題（５）その他

各地区の委員から、次の報告があった。

土気地区

今日と明日、創造の杜で、サマーフェスティバルが開催されています。また、巡回バス（無料）も運行しています。

椎名地区

防犯パトロールの強化に力を入れていきたい。

誉田地区

９月の敬老会に向けて、準備を進めている最中です。

おゆみ野

障害者の方々も参加された「そうめん流し」が終了しました。先日は、高齢者や障害者も参加された「おゆみ野夏祭り」も終了しました。今後は、９月の後半に市民体育祭を予定しています。